

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
1項 商業費
4目 貿易振興費

経済通商総室(内線：7659)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
【経済成長戦略】 (新) 上海物産展・商談会開催事業(上海国際博覧会関連)	8,499	0	8,499				8,499	
トータルコスト	13,340千円(前年度 0千円)[正職員：0.6人]							
主な業務内容	委託契約締結、現地百貨店等や委託先等との事前調整、現地調査活動など							
工程表の政策目標(指標)	境港の物流拠点化及び境港の取扱貨物量増加 (貨物取扱量 目標 5,200千トン、コンテナ取扱量 目標 21,900TEU)							
<p>説明</p> <p>1 事業の概要 上海国際博覧会日本館イベントステージに鳥取県が参加するのに併せ、上海市内百貨店等で物産展を開催するとともに県産品展示PR・販売を行い、県産品の海外販路開拓を推進。また、既存コンテナ航路の利便性向上(※上海シャトル便化等)を目指すため、現地調査活動を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 上海市内百貨店等での県産品物産展・展示商談会等の開催 7,064千円 期 間：平成22年8月中下旬 場 所：上海市内の百貨店等 内 容：県産品の展示PR、試食販売、現地バイヤー等とのマッチング等、伝統芸能披露、県観光情報・まんが王国鳥取等PR。</p> <p>(2) 上海航路の利便性向上に向けた現地調査活動 1,435千円 既存コンテナ航路の利便性向上(シャトル便化等)に繋がる貨物確保に向けた対応策を協議するため、船会社や荷主候補となる現地企業を訪問。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 【指標】貨物取扱量 目標 5,200千トン、コンテナ取扱量 目標 21,900TEU 【現状】貨物取扱量 H20実績：4,111千トン、コンテナ取扱量 H20実績：15,271TEU</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から県産食品輸出個別商談会の開催やFHC CHINA(上海国際見本市)へ出展を行い、県内企業の上海での販路開拓を支援。併せて、上海周辺の船会社、荷主企業への訪問を実施し、境港や既存コンテナ航路等のPRを展開。 引き続き、県産品PR等による販路開拓を支援するとともに、既存コンテナ航路の利便性向上(シャトル便化等)につながる貨物確保に向けた取組みが必要。 <p style="text-align: right;">※上海シャトル便とは、境港～上海間の直行便のこと。</p>								